

# 中国の人口政策による人口構造変化に関するシナリオ分析

Scenario analysis of demographic changes caused by China's population policy

○李晨陽1\*・李游\*\*・周璋生\*

CHENYANG LI, YOU LI, WEISHENG ZHOU

## 1. はじめに

人口発展は常に社会・経済の発展と密接な関係があり、都市化・工業化に伴い、中国の人口は増え続け、総人口は14億人を超え、そのうち労働年齢人口は9億5000万人を超えている。同時に、中国は少子高齢化、一人当たりの資源の相対的不足、脆弱な生態環境などの問題に直面している。第7回国勢調査の結果によると、中国の総人口は2020年に14億978万人になり、年齢構成では、0～14歳が17.97%、15～64歳が68.50%、65歳以上が13.52%である。2010年との比較では、15～64歳の労働年齢人口の割合は5.97ポイント減少し、65歳以上の高齢者人口の割合は4.60ポイント増加している。本研究の主な目的は、人口動態の変化と需要の変化に関する重要な情報を政府や政策立案者に提供するため、コホート要因法を用いて中国の将来人口を予測し、異なる年齢層と性別に関する将来人口の規模・年齢構造を明らかにする。

## 2. 分析方法

本研究は、中国の将来の総人口数と年齢構成の変化傾向に焦点を当てている。コホート要因法で人口予測モデルを構築し、CPPSソフトウェアを使用して2000年から2100年までの中国の総人口、年齢構成、労働人口比率の変化傾向を予測した。6つの異なる人口政策シナリオのパラメータ設定においては、特殊総和出生率は1, 1.5, 1.728, 2, 2.5, 3と設定された。出生人口の性比については、2000年から2020年までは実際の値を使用し、2100年は105と設定し、中間の年には線形補完法を用いて補完した。予想寿命については、2000年から2020年までの男性の予想寿命は74.505歳、女性の予想寿命は80.155歳と設定し、2021年から2100年までの男女の予想寿命は75歳から79歳の間で、毎年0.1歳ずつ増加し、80歳以上は年々0.6歳増加する。

## 3. 分析結果

### 3.1 人口総数

異なる人口政策シナリオに基づくシミュレーション結果によれば、TFR（総合特殊出生率）が1, 1.5, 1.728, 2の場合、中国の人口総数は年々減少の傾向を示し、2100年にはそれぞれ4億2158万人、7億3878万人、9億3253万人、12億1129万人に達す。一方、TFRが2.5, 3の場合、中国の人口総数は年々増加の傾向を示し、2100年にはそれぞれ18億8111万人、27

---

1\* 立命館大学政策科学研究科 College of Policy Science, Ritsumeikan University  
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150  
E-mail: ps0600xv@ed.ritsumei.ac.jp

\*\* 立命館大学アジア・日本研究機構

\* 立命館大学大学院政策科学研究科

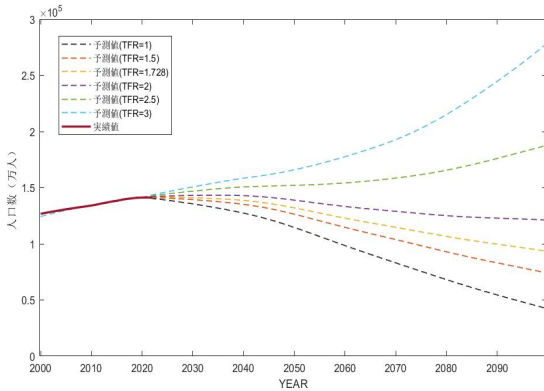


図1 異なる人口政策シナリオにおける中国人口の数値シミュレーション

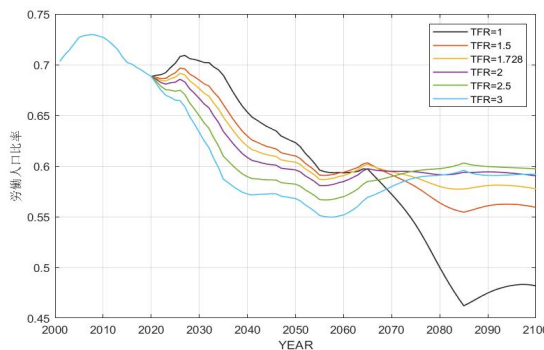


図2 異なる人口政策シナリオにおける中国労働人口比率の数値シミュレーション

億9346万人と予測される(図1)。

### 3.2 労働人口比率

異なる人口政策シナリオに基づくシミュレーション結果によれば、中国の労働年齢人口比率は変動を続ける。図2に示されているように、2020年以降、中国の労働人口比率は一定の増加傾向を示し、2026年頃にピークに達した後、2055年まで持続的に減少する傾向が見られる。2060年以降、TFRが1の場合、2055年から2065年間の労働人口比率は基本的に安定し、その後急速に大幅に減少する。TFRが1.5、1.728の場合、2055年から2065年間の労働人口比率はわずかに上昇し、その後わずかに減少する。TFRが2、2.5、3の場合、2055年から2065年間の労働人口比率はわずかに上昇し、その後安定している。2100年の異なるTFR設定において、TFRが大きい順に対応する労働人口比率はそれぞれ48.18%、55.92%、57.75%、59.03%、59.73%、59.19%となる。

### 3.3 年齢構造

人口ピラミッドは、異なる年齢層の人口数と比率を示し、地域や国の人口の年齢構造を把握することができる。研究結果によりTFRが大きいほど、底部が広いピラミッドは若年人口の割合が高く、人口が増加する傾向を示唆している。

## 4. 結論

人口政策とは、政府が人口の数量、構成、分布を管理・調整するために採る措置や政策のことを指す。人口政策は出生率の制御や計画的な出産制度の実施などの手段を通じて人口の数量を調整し、人口の年齢構造や性比を調整することができる。本研究では、人口予測モデルを構築し、6つの異なる人口政策シナリオに基づき、中国の総人口および年齢構造の変化傾向を予測した。研究結果によると、出生率が低い場合、中国の総人口は年々減少し、これは経済や社会の発展に一定の課題をもたらす可能性がある。したがって、出生を促進し労働力リソースの供給を増やす措置を取ることは、持続可能な人口発展と経済成長を促進することができる。

### 主な参考文献

- 1) Chen, Wei (2022) "Forecasting Negative Population Growth and Population Ageing in China," *Social Science Journal*, 2022 (05), 133-144.
- 2) DAI, Xia (2007) "Study on Taiwan's Population Development Trend in the Future 50 Years," *Market & Demographic Analysis*, 2007 (02), 53-57+25.
- 3) 国立社会保障・人口問題研究所 (2017) 「日本の将来推計人口—平成28 (2016) ~77 (2065) 年—附：参考推計 平成 78 (2066) ~ 127 (2115) 年」『人口問題研究資料』第336号.